

検証事項と検証の進め方

○検証事項(案)

1. 決壊・越水の確認と洪水予報の発表
 - ・洪水時における決壊・越水確認の迅速化
 - ・洪水予報の確実な発表
2. 緊急速報メールによる河川情報提供
 - ・緊急速報メールの確実な配信
 - ・配信文章の見直し
3. 大雨特別警報解除後の洪水に係る情報提供
 - ・大雨特別警報解除後の洪水に対する注意喚起のあり方
 - ・水位予測情報提供の充実
4. 河川・気象情報の提供の改善・充実
 - ・「川の防災情報」へのアクセス集中対策
 - ・情報提供のメディア等との連携方法の検討
 - ・避難につながる呼びかけ方法の検討
 - ・気象台・整備局による合同記者会見の改善

検証の視点

■体制

- ・現場の体制・業務分担の見直し
- ・関係機関との連携の強化

■システム

- ・操作の自動化
- ・脆弱性の強化

■情報の内容

- ・表現の工夫
- ・情報提供手法の改善

等

○検証スケジュール(予定)

11月14日 第1回検証会議

11~2月 検証会議・WGの開催(数回) ※有識者からの意見聴取

3月 とりまとめ、報告

検証の体制

気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会 (社会資本整備審議会 河川分科会)

省内検証チーム

河川・気象情報の改善に関する検証チーム

(メンバー)
水管理・国土保全局
気象庁

東北地方整備局
関東地方整備局・東京管区気象台
北陸地方整備局 等

台風19号等での課題の内部検証、改善策の検討
※有識者から意見聴取を予定

メディア等

連携

住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害
ハザード・リスク情報共有プロジェクト

(メンバー)
マスメディア (NHK、民放、地方紙等)
ネットメディア (Yahoo、LINE、携帯キャリア等)
行政 (水管理・国土保全局、道路局、気象庁) など

各社の取組の振り返り、改善策の実施

有識者会議

連携

防災気象情報の伝え方に関する検討会

(メンバー)
情報・気象等有識者、内閣府、消防庁
(事務局)
気象庁、水管理・国土保全局、砂防部

有識者による改善策の検討